

2025年9月25日

岐阜大学医学部附属病院において外来診療あるいは入院診療を受けられた
患者さんへ
「膵がん教室開催による患者への影響と効果の評価」への協
力のお願い

岐阜大学医学部附属病院薬剤部では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018年10月から2025年12月31日までに当院にて開催された膵がん教室に参加された方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2026年12月31日

研究目的

膵癌は、約80%の患者が診断時にすでに切除不能な状態で発見され、また切除できても術後の再発率が高いと言われています。診断直後から治療が開始され、患者さんやその家族が十分に病状を理解し、受け入れることができないまま、治療が進み、医療者との認識のギャップがあることもしばしばみられます。

正確な知識や技術を提供する患者教育を行うことは、患者さんが病気や症状とうまく付き合い生活していく自信や自己効力を習得することを可能にすることが分かっています。そのため、短期間に自身のおかれている状況を理解しなければならない膵癌患者さんにおいて、患者教育を行うことは非常に重要であると考えられます。

当院では、診断から早期の段階で、患者・家族に対し、膵癌の治療や抗がん剤治療の副作用の対処の方法やがん治療のサポート等について多職種から講義形式で情報提供を行う膵癌教室を開催しています。しかし、このような患者教育を目的とした教室や講座は各施設で行われてはいるものの、一般的ではなく、またその教育効果が患者さんに与える影響についての検討はほとんどありません。

そこで、本研究では膵がん教室の参加者に対して行ったアンケートについて評価し、膵がん教室の開催による現状把握とともに患者さんに与える影響について検討を行います。

調査項目

- ・ 疾患情報（癌種類、性別、年齢、PS、ステージ、化学療法内容、化学療法効果）
- ・ QOL (FACT)

（身体症状・社会的家族の関係・精神的状態・活動状況・その他）

- ・ 記述式アンケート

（膵癌教室受講後の気持ちの変化、よかった点、改善して欲しい点、他に講義で聞いた内容、感想その他）

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
職名：薬剤師 氏名：加藤 寛子

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

岐阜大学医学部附属病院薬剤部

Tel : 058-230-7088 (平日 8:30~17:15)

058-230-6000 (夜間・休日)

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科消化器病態学 教授
氏名：清水 雅仁